

寄 名

農家宿泊に可能性

グリーンツーリズム協議会が学習会

【名寄】市グリーンツーリズム推進協議会(中野康則会長)の学習会が25日、駅前交流プラザよろいなどで開かれ、教育旅行を受け入れる農家民泊の可能性を学んだ。

年1回の学習会で、会員の農家、観光関係者約20人が参加した。中野会長が「都市に住む人が農村に観光にくる。皆さんと農家民泊を一緒に考えていきたい」とあいさつした。

講師は、北海道の自然、農業を生かした体験型観光、教育旅行の受け入れを企画、推進しているアグリテック(東川町)、中田浩康社長。「グリーンツーリズム×滞在型観光」なよるのグリーンツーリズムの新たな可能性に向けてをテーマに、修学旅行の近年の動向、上川北部の農村が秘める潜在力を

た。修学旅行の目的の3割以上は、自然や農村体験が占めるといふ。中田社長は「学校が求

めている生きる力、環境学習は農村にすでにある。地域の魅力をもっとアピールしたい」と強調。
「道内で200人以上の民泊を受け入れられるのは上川中部、北空知、長沼、十勝、後志地域しかない。受け入れ体制を整えば、今あきらめている学校がやってくる可能性が旭川以北にはある。大きなホテルを誘致しなくても近隣と連携すれば、農家民泊でキャパができる」と取り組みに期待を寄せた。
(吉永雅人)

道北一の炭酸鉱泉
五味温泉
☎01655143311

演題

「グリーンツーリズム」
名寄市グリーンツーリズムの
可能性について
(有)アグリテック 代表取締役社長 中田

